



R-Stage+D ボアアップキット 88cc

商品番号：01-05 7004

シリンダーヘッド適応車

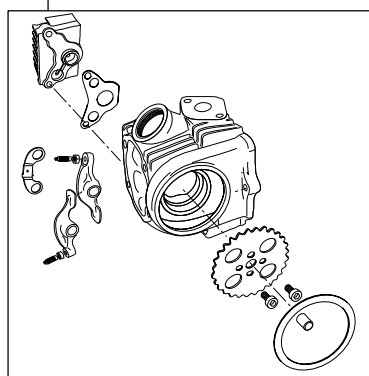
モンキー/ゴリラ：Z50J 1000001~1510400

6Vダックス：ST50 1000001~6300021

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
 - ・この商品は、R ステージ+D /ボアアップ(52×41.4 88cc)キットです。
ご使用に付きましては、各キット内容をお確かめ、各キットの明記事項を遵守頂きますようお願い致します。万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

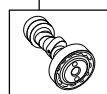
～キット内容～

01 03 7003
R ステージ+Dキット



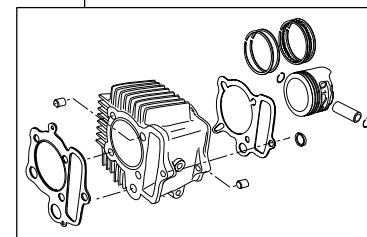
QTY: 1

01 08 0010D
カムシャフトR 10



QTY: 1

01 04 7188H
シリンダーキット88cc Hシリンダー



QTY: 1

ご使用前に必ずお読み下さい

このキットはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

お問い合わせ専用ダイヤル

0721 25 8857



R-Stage+D キット 取扱説明書

商品番号：01-03-7003

シリンダーヘッド適応車

モンキー/ゴリラ	: Z50J	10000001~2699999	XR50R	: AE03	10000001~
	AB27	10000001~1809999	CRF50F	: AE03	14000001~
モンキーBAJA	: Z50J	17000001~	XR70R	: DE02	10000001~
モンキーR/RT	: AB22	10000017~	CRF70F	: DE02	17000001~
6Vダックス	: ST50	10000001~6346265	CD90	: HA03	10000005~
ダックス50	: AB26	10000001~			
マグナ50	: AC13	10000010~			

CD90は、上記フレーム番号のエンジンに適合

- ・このたびは、弊社商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

バルブ挟み角を変更し、燃焼室形状の変更から、燃焼効率を向上させました。

インテークバルブ外径を26mmに、エキゾーストバルブ外径を22.5mmに拡大し、ポート形状の大幅な変更により吸排気効率を高めました。ステム径をIN/EX共に4.5mmにし、バルブスプリングをシングルに、さらにチタンバルブスプリングリテーナーを標準装備し、バルブの追随性を高めました。

デコンプレッサ - 機構付きカムシャフトを使用することで、高圧縮比化されたR Stage+Dボアアップでも、ミッションやキックシャフト等に負担をかけずに軽いキック力でエンジンの始動が可能になりました。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。上記適合車のホンダ純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

シリンダーヘッドにシリアルNo.を刻印してあります。部品注文時にシリアルNo.が必要になる場合があります。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものををご使用下さい。

液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。尚、抵抗入りスパークプラグの場合は必ず抵抗入りの物をご使用下さい。

点火系は弊社製もしくはノーマルのみ適合とします。他社製品との組み合わせのデータはありません。また、トラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。

ノーマルクラッチは使用不可の為、遠心フィルターがなくなります。外部のオイルフィルターを装着して下さい。

必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。

エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40/15W-50程度の物をご使用下さい。

エンジン回転計を取り付け、必ず限界回転数以下でご使用下さい。

スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。

このキットは単独で使用出来ません。「弊社推奨エンジンパーツ」を参照して下さい。

このキットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

もし一般公道で使用される場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、原付2種登録が必要となります。

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



注意

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。35℃以下。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。(部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。)



警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。(火災の原因となる恐れがあります。)
- ・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行って下さい。(部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

走行前の注意

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

このキットを取り付けると遠心フィルターがなくなります。外部オイルフィルター付の乾式クラッチ又はスペシャルクラッチを装着して下さい。スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

**このキット単体では使用することは出来ません。
専用のボアアップ及びボアストロークアップキットを
別紙を参考にご購入下さい。(フルキット購入時除く)**

その他

オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。

カムシャフトについて

シリンダーヘッドキット単品にてご購入された場合は、別途専用カムシャフトが必要です。カムシャフトは用途や排気量によって数種類のプロファイルを用意しております。又、フルキットにて購入され同梱されているカムシャフト以外に、オプション品として検討して頂けます。別紙を参照して下さい。

使用回転数

使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。P3のカムシャフト比較グラフを参考にして、エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。

特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

バルブスプリングリテーナー

このシリンダーヘッドは、チタンバルブスプリングリテーナーを標準装備しております。スチールリテーナーに比べ約30%の軽量を実現しております。表面にはHV1500以上もの表面硬度をもつコーティングを採用しております。従来のコーティングよりも耐摩耗性を向上させています。ただし、耐久性につきましては、スチール製に比べ劣りますので定期的な点検を必ず行い、損傷、消耗が有れば、新品と交換して下さい。又、耐久性を重視される方は、スチール製バルブスプリングリテーナーに交換下さい。

品番00 01 0078

シリンダーヘッドには、管理NoとしてヘッドNo(シリアル)を打刻しております。

リベアパーツ発注時、このヘッドNoが必要となる場合があります。リベア品番がわからない等で、リベアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

シリンダーヘッド左側面に打刻してあるNoをひかえる。

ヘッドNo - RSD - 000001

発注例 シリンダーヘッドキット、リベア

ヘッドNo - RSD - 000001 インテークバルブ
数量1本



**注：リベアパーツで、バルブロッカーアームを発注時は、必ず
ヘッドNo が必要になります。ご注意ください。**

シリンダーヘッド単品で購入された場合は、排気量等、組み合わせを選んで組み付けて頂けるセットを用意しております。別紙「ボア&ストロークアップキット参照表」を参考にキット内容をご検討下さい。不明な点やキットの細かい内容はお買い上げ頂いた販売店、又は、弊社までお問い合わせ下さい。

弊社推奨エンジンパーツ

このキットは弊社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは弊社推奨エンジンパーツに交換して下さい。

推奨パーツ			
クラッチ	スペシャルクラッチキット	モンキー/ゴリラ	
	乾式クラッチキット	モンキー/ゴリラ	
点火系	ノーマルC.D.I		
	ハイパーC.D.I	モンキー/ゴリラ	0 7 0 2 1 5
	C.D.I マグネット	モンキー/ゴリラ、モンキー-R	0 5 0 2 0 5 1
キャブレター	京浜PC20	モンキー/ゴリラ	8 8 ~ 1 0 6 c c
	京浜PD22	モンキー/ゴリラ、モンキー-R、マグナ50、ダックス50、CRF50F、CRF70F	8 8 ~ 1 0 6 c c
	京浜PE24	モンキー/ゴリラ、CRF50F、CRF70F、CD90	8 8 ~ 1 2 4 c c
	京浜PE28	モンキー/ゴリラ、モンキー-R	1 0 6 ~ 1 2 4 c c
	三国VM26	モンキー/ゴリラ、モンキー-R、マグナ50、ダックス50、CRF50F、CRF70F、CD90	8 8 ~ 1 2 4 c c
オイルポンプ	スーパーオイルポンプキット	0 1 1 6 0 0 5 1	
カムチェーン (シリンダーヘッドキット時のみ)	強化カムチェーンキット	8 8 c c	0 1 1 4 0 0 2
		1 0 6 c c	
		1 2 4 c c / CD90	0 1 1 4 0 0 3
オイルキャッチタンク (ヘッドブリ ザーキャップ使用時)	モンキー/ゴリラのみ	0 9 0 4 0 3 1	
		0 9 0 4 0 3 2	

CD90車両への搭載は、キャブレター適応が無い為に出来ません。

CD90の適応フレーム番号のエンジンのみに適応します。ご注意下さい。

オプションカムシャフトについて

本キットに使用出来るカムシャフトを数種類ご用意しております。

各排気量で用途に合ったカムシャフトを右表を参考に選択し、ご使用をお楽しみ下さい。

R 10カムシャフト	0 1 0 8 0 0 1 0 D	8 8 / 1 0 6 c c 同梱
R 15カムシャフト	0 1 0 8 0 0 1 5 D	1 2 4 c c / CD90 同梱
R 20カムシャフト	0 1 0 8 0 0 2 0 D	オプション品

カムシャフトの名称について

/ の数字が大きいカムシャフトほど作用角が広く、高回転域で高い出力を発揮し、低中速回転域で出力が抑えられます。

逆に数字が小さいカムシャフトほど作用角が狭く、高回転域での出力が抑えられ、低中速回転域で高い出力を発揮するように、出力特性が移行します。弊社では排気量別に適正なカムシャフトを付属させていますが、オプションカムシャフトを購入される際は、カムシャフトデータ表を参考にし、使用目的に見合ったカムシャフトを選択して下さい。

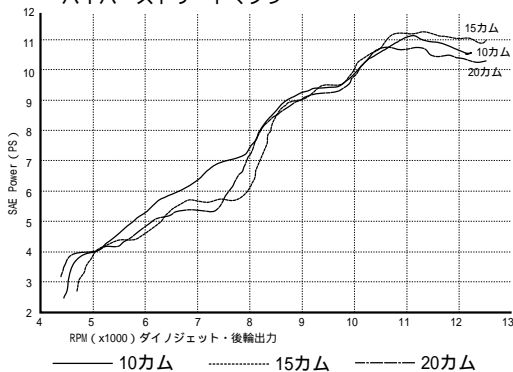
また、エンジン出力は、使用するマフラー、インレットパイプ長、キャブレター径、圧縮比、点火装置、点火時期、オクタン価などや、気温、気圧といった自然現象により、大きく変化しますのでご注意下さい。

カムシャフト比較データ 表

注) ダイノジェットによる測定データ ですので、実走とは異なります。参考データ として検討下さい。エンジン出力は気温に大きく左右されます。

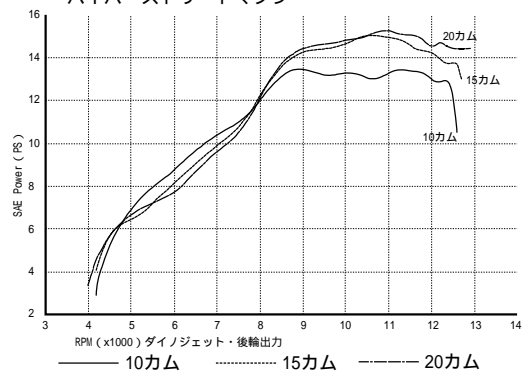
Rステージ+Dボアアップキット88ccに各カムシャフトを取付けた場合

- ・Rステージボアアップキット88cc
- ・MIKUNI VM26ビッグボアキャブレターキット
- ・ハイパーストリートマフラー



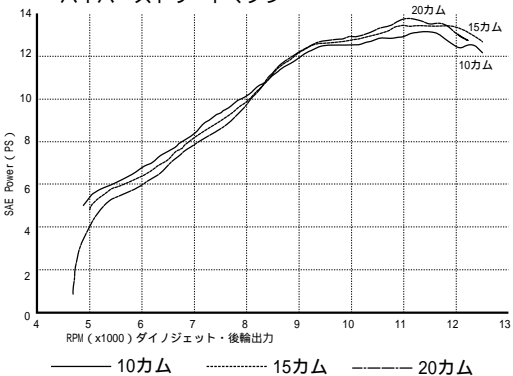
Rステージ+Dボアアップキット124ccに各カムシャフトを取付けた場合

- ・Rステージボア&スーパーストロークアップキット124cc
- ・KEIHIN PE28ビッグボアキャブレターキット
- ・ハイパーストリートマフラー

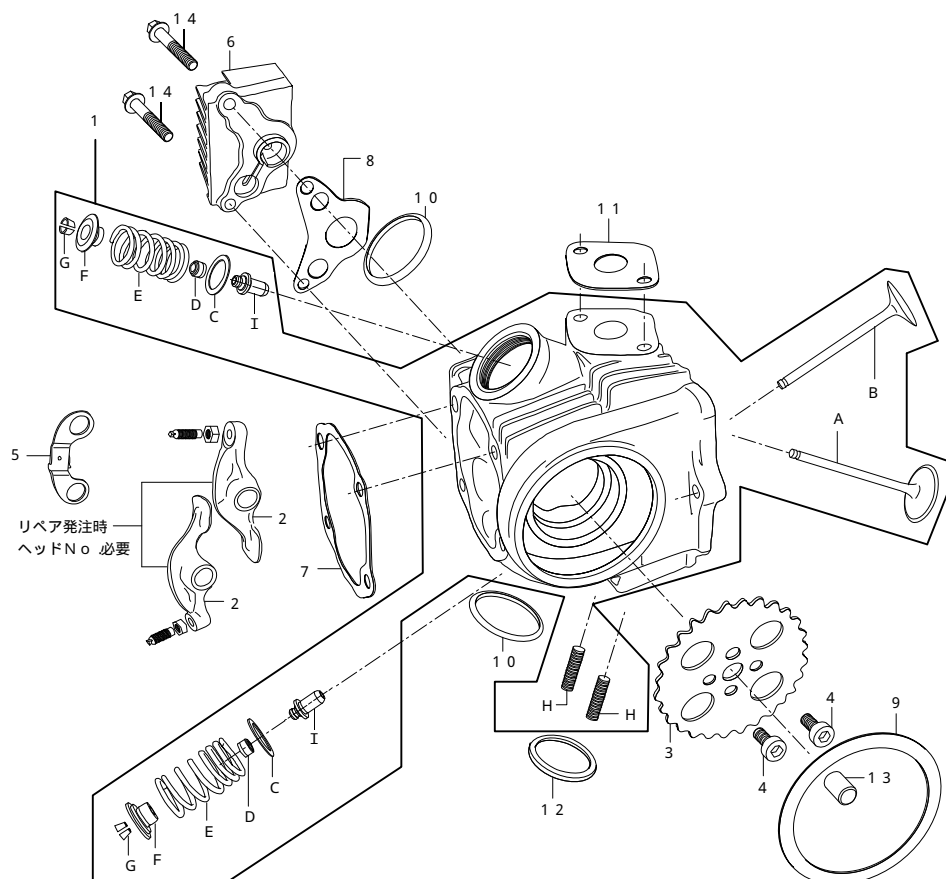


Rステージ+Dボアアップキット106ccに各カムシャフトを取付けた場合

- ・Rステージボア&ストロークアップキット106cc
- ・KEIHIN PE28ビッグボアキャブレターキット
- ・ハイパーストリートマフラー

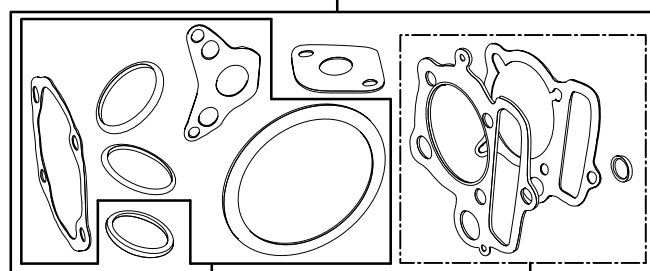


～ 商 品 内 容 ～



リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

01 13 0608 (88cc/102cc/106cc)
01 13 0604V (113cc/124cc)
01 13 0607 (106cc/スカットシリンダー専用)



01 13 7002
01 13 7003V (88cc/106cc)
01 13 8003V (113cc/124cc)
01 13 0606 (106cc/スカットシリンダー専用)

注：シリンダーの種類によりガスケットキットは異なります。ガスケットキット購入時は、間違わない様注意して下さい。

番号	名称	数量	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッドCOMP.	1	06120 RSD T01	1
2	ロッカーアーム	2	14431 036 T11	1
3	カムプロケット	1	00 01 0099	1
4	キャップスクリュー M5×12	2	00 00 0066	4
5	ストッパープレート	1	00 01 0076	1
6	R.シリンダーヘッドサイドカバー	1	00 01 0077 (ボルト付)	1
7	シリンダーヘッドカバーガスケット	1	12391 165 T01	1
8	R.シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1	12394 181 T01	1
9	L.シリンダーヘッドサイドカバーガスケット	1	12395 165 T01	1
10	Oリング	2	00 01 0034	2
11	マニホールドガスケット	1	00 03 0009	3
12	エキゾーストパイプガスケット	1	00 01 0064	2
13	ノックピン 8×12	1	00 00 0153	2
14	フランジボルト M6×25	2	00 00 0115	5
	アルミスベシヤル (5g)	1	00 01 0001	1

記号	部品名	数量	リペア品番	入数
A	インテイクバルブ	1	14711 GFL T01 F	1
B	エキゾーストバルブ	1	14721 GFL T01 F	1
C	バルブスプリングアウターシート	2	00 01 0002	2
D	バルブステムシール	2	00 01 0015	2
E	バルブスプリング	2	00 01 0283	2
F	バルブスプリングリテーナー	2	01 12 084	2
G	バルブコッタ	4	00 01 0018	4
H	スタットボルト 6×32	2	00 01 0085	2

I	補修用O/Sバルブガイド	2	00 01 0262	2
---	--------------	---	------------	---

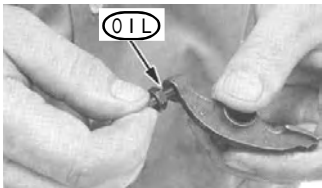
株式会社 SPECIAL PARTS 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

～シリンダーヘッド取り付け要領～

オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームのアジャストボルト及びアジャストナットを取り外します。



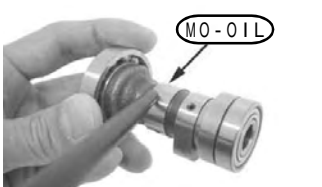
キット内のロッカーアームと、取り外したアジャストボルトにエンジンオイルを塗布し、取り付けます。



専用のカムシャフトの両端のベアリングにエンジンオイルを塗布します。



カム山にモリブデン溶液を塗布します。



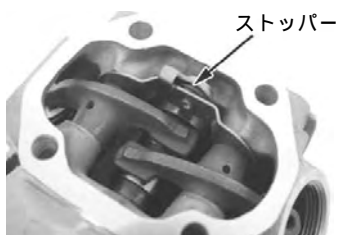
キットのシリンダーヘッドにカムシャフトをセットします。



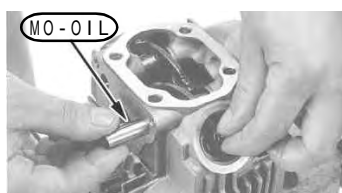
デコンプカムのストッパー部は燃焼室側に向けておきます。



シリンダーヘッドにキット内のストッパープレートのストッパー部をシリンダーヘッド右側に向け、ロッカーアームと共にセットします。



オリジナルのロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、ロッカーアームシャフトのネジ部を外側に向け、ロッカーアームとストッパープレートの穴位置を合わせ、ロッカーアームシャフトを取り付けます。



シリンダーにキット内の8×14のノックピンをノックピン穴にセットします。

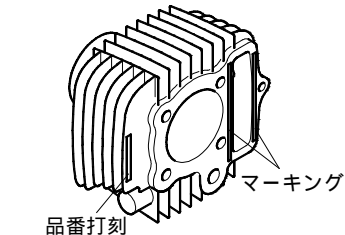
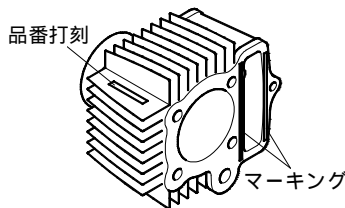


シリンダー上面をよく脱脂します。Vシリンダー、Hシリンダー、Sシリンダー（スカット）はシリンダーヘッドガスケット（厚み0.25mm、ヘッドガスケットに品番がマーキングしている物）を取り付けます。



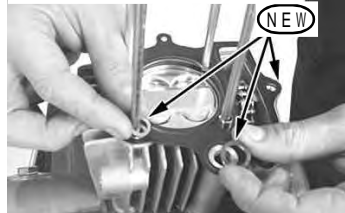
使用するシリンダーヘッドガスケットに注意して下さい。

注）これらのシリンダーは上面にマーキング、またはフィン部に品番が打刻されています。



品番やマーキングが無いシリンダー、シリンダーキット内にラバーガスケット（緑）が付属しているシリンダーにはシリンダーヘッドガスケット（厚み1.0mm 3枚重ねの物）、ラバーパッキン（黒）、ラバーガスケット（緑）を取り付けます。

旧型シリンダーキット時のみ



使用するシリンダーヘッドガスケットに注意して下さい。

ピストンを上死点に合わせて、シリンダーヘッドを取り付けます。



カムチェーンがクランクケース内に落ちない様に固定しておきます。



シリンダーヘッドにシリンダーヘッドカバーガスケットをセットします。



シリンダーヘッドカバーのマークをEXにセットし、スタートボルトネジ部に少量のアルミスベシヤルを塗布し、シーリングワッシャとナットを取り付けます。

（エンジンを前から見て左下に、銅ワッシャ、残りがスチールワッシャ、右下に6角ナット、残りがふくろナットを各位置に取り付ける。）



スタートボルトのナットを対角に2～3回に分けて規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

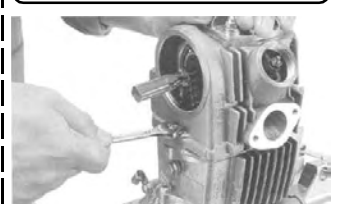
$$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \quad (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



シリンダー部のサイドボルト及びシリンダーヘッド部のサイドボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} \quad (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$$



カムチェーンガイドローラーのボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



カムチェーンテンショナー部のサイドボルトを取り外します。



カムシャフトのセンターにキット内の 8×12 のノックピンを取り付けます。



カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、キット内のカムスプロケットプレート、キャップスクリュー $M5 \times 12$ (黒色) 2本を用いて取り付けます。

(この時、キャップスクリューネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布します。)

この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの合わせマークと合わせます。



クランクシャフトを固定し、カムスプロケットを固定しているキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



キット内の右サイドカバーガasketをキット内の右サイドカバーにセットし、シリンダーヘッドにキット内のフランジボルト2本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



クランクシャフトを反時計方向に2回転以上回し、デコンプを解除した後、サイドマークを合わせます。

クランクシャフトは時計方向に回さないで下さい。デコンプが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。アジャストスクリューでバルブクリアランスを調整します。

IN : 0.08 (冷間時) ± 0.03
 EX : 0.08 (冷間時) ± 0.03



アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

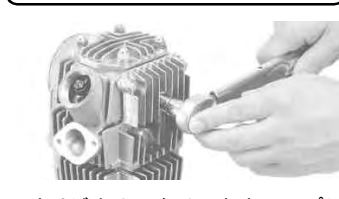


左シリンダーヘッドカバーにキット内の新品ガスケットを取り付け、シリンダーヘッド出っ張り部と左シリンダーヘッドカバーの合わせ位置を合わせて取り付け、右シリンダーヘッドカバー部からオリジナルのシーリングワッシャ、フランジボルトを用いて取り付けます。



取り付けしたフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



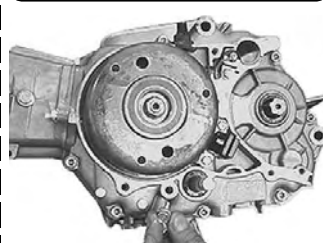
オリジナルのタペットキャップにキット内の新品のOリングを取り付け、Oリング部に少量のエンジンオイルを塗布し取り付け、規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(0.8 \sim 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



カムチェーンテンショナー部のサイドボルト穴からエンジンオイルを注入し、サイドボルトを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(0.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

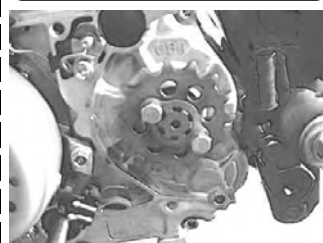


サービスマニュアルを参照し、エンジンをフレームに取り付けます。

△注意：必ずマニュアルの指示を守る事。

使用するキャブレターキットの取説に従いキャブレターを取り付けます。ドライブスプロケットを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



ジェネレーターカバーを取り付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 7 \sim 11 \text{ N} \cdot \text{m}$
 $(0.7 \sim 1.1 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



エンジンオイルを使用するクラッチキットの指示している量まで入れます。

サービスマニュアルを参照し、ドライブチェーンを取り付けます。

3点支持クランクシャフト(3B)使用時はクランクシャフトの取り付けマニュアルの支持に従い、ジェネレーターカバー取り付け付けます。

エンジン始動

イグニッションキー、ガスコックがOFFになっていることを確認します。

しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを行きわたらせます。

スパークプラグを取り付けます。プラグのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。

プラグキャップをスパークプラグに取り付けます。

エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。

ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。

⚠注意：必ず換気のよい場所で行う事。

異音など異常が無いかを確認します。

異常が無ければ30kmから50km程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。

⚠注意：必ず冷間時に行う事。

100kmから150km位まで再度慣らし運転を行います。

慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認します。

(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

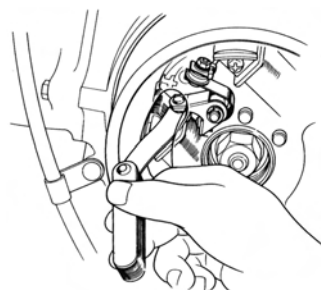
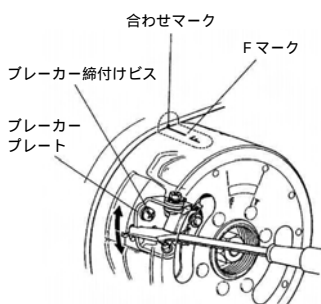
⚠警告：再使用出来ないパーツは再使用しない事。

6V車両の場合

点火タイミングがずれていると、本来の性能を発揮しない上に、重大な故障にもつながる恐れがあります。点火タイミングの点検と調整を行うことをお勧めします。ご自分で出来ない場合は、バイクショップ等で点検することをお勧めします。



タイミングライト(00-01-009)を用いて、アイドリング時にフライホイールの'F'マークとクランクケースの合わせマークとが合っているか確認する。



調整はブレーカー締付けビスを緩め、ブレーカープレートを少しづつ動かして行う。

調整を行った後にクランクシャフトを回してポイントの隙間が一番開く位置に合わせ、シクネスゲージでその隙間を測定する。ポイント隙間 0.3 ~ 0.4 mm 範囲外の場合はポイントの交換をする。

インスペクション／マニュアル

⚠ 警告

このシリンダーヘッドマニュアルは基本的な技能や知識を持った人を対象としておりますので、技術、知識の無い方は作業を行わないで下さい。

部品及びシリンダーヘッドは、分解後、点検、測定の前に洗浄した後、圧縮空気で吹き、良く乾かす。
カムシャフトを潤滑するエンジンオイルは、シリンダーヘッドのオイル通路を通して供給される、シリンダーヘッド組立前にオイル通路を清掃しておく。
部品は、分解後取り外した場所がわかる様マーキングしておき、必ず元の位置に取り付けること。

シリンダーヘッド整備諸元表

項目	標準	使用限度	備考
バルブクリアランス IN	0.08 ± 0.03 mm (冷間時)	—	
EX	0.08 ± 0.03 mm (冷間時)	—	
シリンダーヘッド歪み	—	0.05 mm	交換
バルブロッカーアームの内径	10.000 ~ 10.015 mm	10.05 mm	交換
ロッカーアームシャフト外径 IN / EX	9.978 ~ 9.987 mm	9.92 mm	交換
ロッカーアームとシャフトの隙間	0.013 ~ 0.037 mm	0.10 mm	交換
バルブガイド内径 IN / EX	—	4.56 mm	ガイド交換又はヘッド交換
バルブステム外形 IN	—	4.47 mm	交換
EX	—	4.45 mm	交換
バルブステムとガイドの隙間 IN	—	0.09 mm	ガイド交換又はヘッド交換
EX	—	0.12 mm	ガイド交換又はヘッド交換
バルブシート当たり幅 IN	—	1.5 mm	修正又はヘッド交換
EX	—	1.7 mm	修正又はヘッド交換
バルブスプリング自由長 アウター	—	30.5 mm	交換
バルブスプリングリテーナー IN / EX	—	コーティング剥離	交換 500 km 毎確認

専用工具: バルブスプリングコンプレッサー SET 品番 00 - 01 - 1005

トルクの単位記述

1 kgf・m = 9.80665 N・m (ニュートンメートル)

モリブデン溶液 マーク (MO-OIL)

モリブデングリースとエンジンオイル 1:1 の割合で混合して作る。

モリブデン溶液塗布指示部には、モリブデン溶液、又は、アッセンブリ ペーストを塗布すること。

オーバーホール毎交換品 マーク (NEW)

分解毎に新品と交換する必要がある部品を示すので、必ず交換すること。

アルミスPECIAL (耐熱潤滑ペースト) マーク (AL-SPL)

- ・アルミスPECIAL = 耐熱潤滑ペースト、高温、重荷重のカジリ、溶着を防止するグリース。(用途、スパークプラグ、エキゾーストマニホールド等高温部に効果的)
指示無き部分には塗布しないこと。

インスペクション / マニュアル

バルブの分解

- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用して、バルブスプリングを圧縮する。

△ 注意：必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。

専用工具：バルブスプリングコンプレッサー S E T
品番 0 0 - 0 1 - 1 0 0 5



- ・バルブコッタを外す。
コッタが外れにくい時は、磁石を使用して外す。
- ・バルブスプリングコンプレッサーを外し、以下の部品を外す。
 - ・バルブスプリングリテーナー
 - ・バルブスプリング
 - ・バルブ

各バルブの曲がり、焼き付き、損傷を点検する。

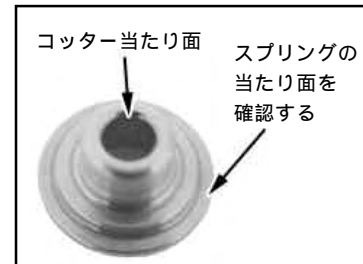
- ・バルブステムの外径のガイド摺動面をマイクロメーターで測定する。

使用限度 I N : 4 4 7 mm E X : 4 4 5 mm
曲がり、キズ、損傷のある物は交換する。



バルブスプリングリテーナーの点検

- ・バルブスプリングリテーナーのバルブスプリング当たり面及びコッター当たり面を確認する。
コーティングの剥離、損傷のある場合、交換する。

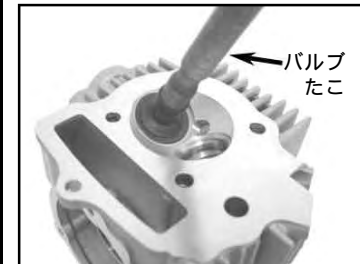


バルブシートの点検

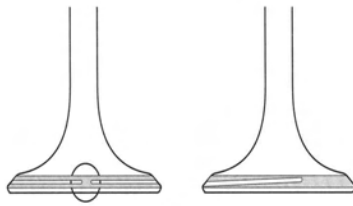
- ・シリンダーヘッド燃焼室及びバルブのカーボン堆積物を取り除く。
- ・バルブフェースに光明丹をオイル等で溶かし、均一に薄く塗布する。



- ・バルブたこを使用して、バルブを軽く 1 回打ち、回転させる。
- ・バルブフェースに付着した光明丹を拭き取り、バルブたこを使用してバルブを回さずに軽く 1 回打ち、当たり面を確認する。



インスペクション／マニュアル



シートの傷

バルブの倒れ



当たりが低い

当たりが高い



使用限度 I N : 1.5 mm以上修正

E X : 1.7 mm以上修正

- ・バルブシートに傷がある場合は、シートを修正する。
- ・当たり幅が広い、狭い、高い、又は低い場合は、シートを修正する。
- ・修正は、内然機関専門店又は、弊社まで依頼する。

ロッカーアームの点検

- ・ロッカーアームの傷、損傷、詰まりを点検する。
- ・ロッカーアームの内径を測定する。



使用限度 : 1.05 mm以上交換

ロッカーアームシャフトの点検

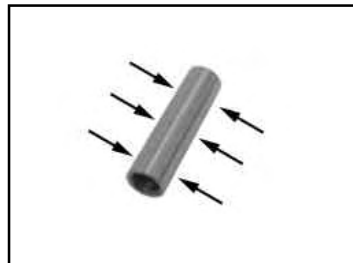
- ・ロッカーアームシャフトの曲がり、傷、損傷を点検する。

- ・ロッカーアームシャフトの外径を測定する。

使用限度 : 9.92 以下交換

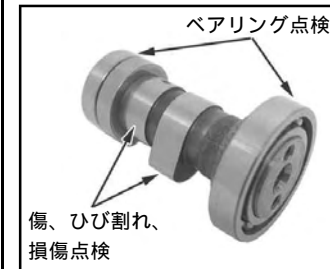
- ・ロッカーアームとロッカーアームシャフトの隙間を計算する。

0.10 以上交換



カムシャフトを点検

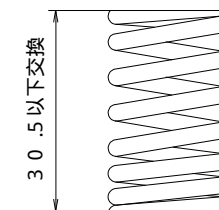
- ・カムシャフトの傷、ひび割れ、損傷を点検する。
- ・各カム山を点検する。
- ・カムシャフトのベアリングを点検する。
ベアリングのアウトレースを指で回し、滑らかに回らない、アウトレースにガタがある場合、カムシャフトを交換する。



バルブスプリングの点検

- ・バルブスプリングの傷、損傷を点検する。
- ・バルブスプリングの自由長を測定する。

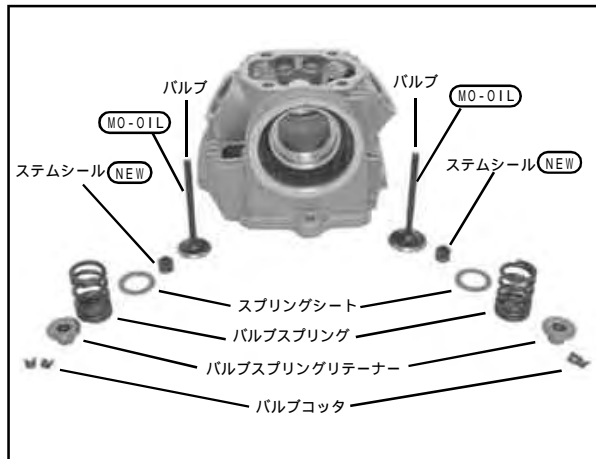
アウト : 3.05 以下交換



インスペクション / マニュアル

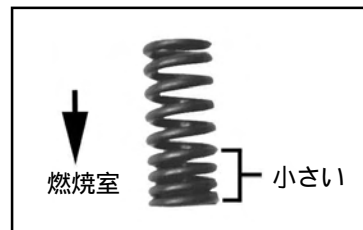
バルブの組立

- ・シリンダーヘッドを洗浄する。
- ・バルブスプリングシート、新品のバルブステムシールを取り付ける。
- ・バルブステム摺動面にモリブデン溶液を塗布し、ステムシールが損傷しない様ゆっくり回しながらバルブをバルブガイドに差し込む。



- ・バルブスプリングのピッチの小さい方を燃焼室側に向けて、バルブスプリングを取り付ける。

⚠ 注意: 必ずピッチの小さい方を燃焼室側に向けること。



- ・バルブスプリングコンプレッサーを使用してバルブスプリングを圧縮し、バルブコッタに少量のグリスを塗布しバルブコッタを取り付ける。

⚠ 注意: 必要以上バルブスプリングを圧縮しないこと。



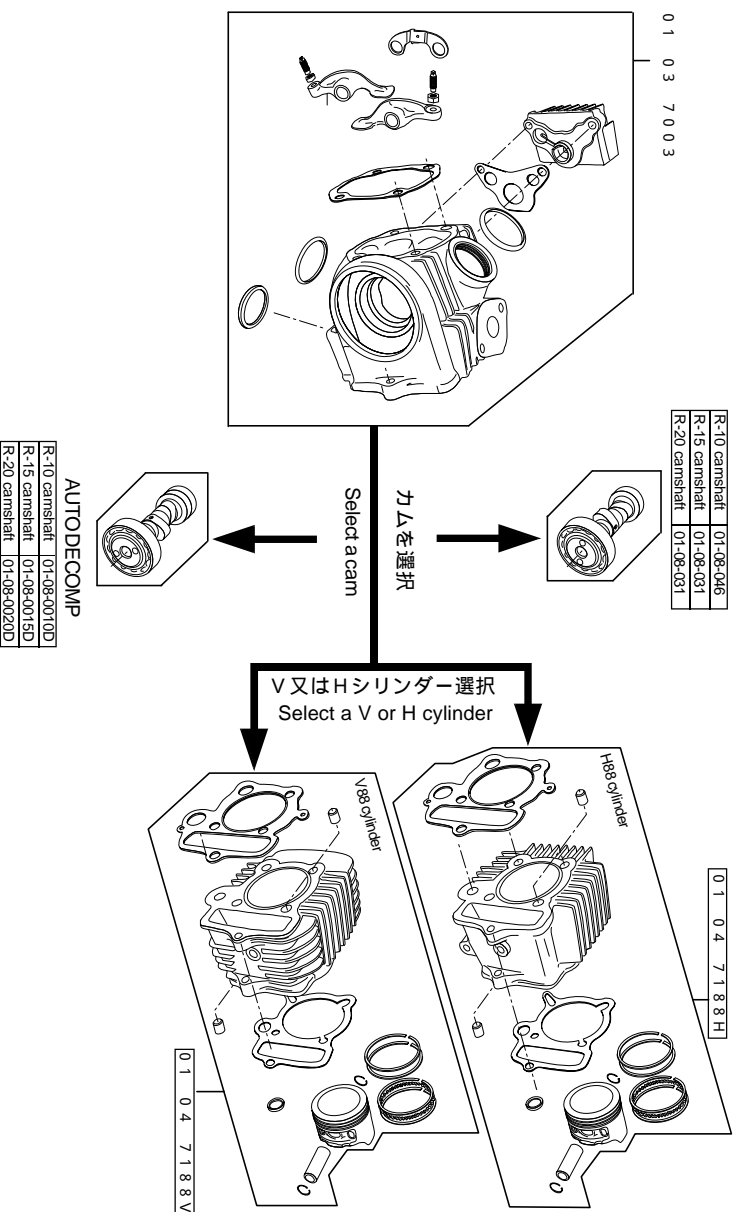
- ・バルブステム先端を軽く2～3回たたき、バルブとコッタのなじみを良くする。

⚠ 注意: バルブを損傷しない様、注意すること。



R-Stage+D ボアアップ参照表 (8 8 c c) Reference data on bore-up kit (88cc)

適用 (Applicable model names and the frame Nos)
 Monkey / Gorilla : Z50J-1000001 ~ 1510400
 6V Dax : ST50-1000001 ~ 6346265



0 1 0 3 7 0 0 3 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。(C D 9 0 除く)
 If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-7003), please study to install these special parts referring to this reference data.
 (except CD90)



R-Stage+ D/ CAM SHAFT 取扱説明書

R - S t a g e + D ONLY

0 1 0 8 0 0 1 0 D
0 1 0 8 0 0 1 5 D
0 1 0 8 0 0 2 0 D

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
このカムシャフトは、Rステージ+Dのパワーを最大限に引き出すための専用のカムシャフトです。
ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

注意 この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・タコメーターを必ず使用し、指定回転数以下でご使用下さい。
（オーバーレブは、エンジンに悪影響を与えるだけでなくエンジン破損の原因となります。）
- ・点検、整備は、定期的に行って下さい。（点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。）
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
（損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。）

警告 この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。）
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では行わないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行って下さい。
（不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。）

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。



品 名	個数
カムシャフトCOMP.	1

R 10バルブタイミング（1mmリフト時）

IN OPEN BTDC 5°
CLOSE ABDC 35°
EX OPEN BBDC 35°
CLOSE ATDC 5°

R 15バルブタイミング（1mmリフト時）

IN OPEN BTDC 10°
CLOSE ABDC 40°
EX OPEN BBDC 40°
CLOSE ATDC 10°

R 20バルブタイミング（1mmリフト時）

IN OPEN BTDC 15°
CLOSE ABDC 45°
EX OPEN BBDC 45°
CLOSE ATDC 15°

ご使用用途に応じて適切なカムシャフトをお選び下さい。

使用時の注意点

取り付けは必ずRステージ+Dの取扱説明書の取り付け要領を参照し、作業を行なって下さい。

知識、技術の無い方は、作業を行わないで下さい。

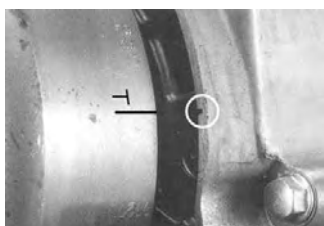
Rステージ+Dのオーナーズマニュアルを参照し、定期的に点検して下さい。

シリンダーヘッドを取り外した状態で、まずカムシャフトを取り付け、圧縮上死点の状態にします。ロッカーアームシャフトにストッパープレートを取り付け、(この時、デコンプカムのストッパー部は燃焼室側にむけておきます。) インテーク、エキゾーストのロッカーアームを取り付けます。



シリンダーヘッドの取り付け要領を参照し、作業を行います。

フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、ピストンを上死点に合わせます。



カムシャフトに8×12ノックピンを差し込み、カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、キャップスクリューM5×12(黒色)2本を用いて取り付けます。

(この時、キャップスクリューネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布します。)

この時、フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせた時、カムスプロケットの“O”マークがシリンダーヘッドの合わせマークと合わせます。



クランクを固定し、カムスプロケットを固定しているキャップスクリューを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



クランクシャフトを反時計方向に2回転以上回し、フライホイールの“T”マークと、カムスプロケットの“O”マークが合っているか確認します。

アジャストスクリューでバルブクリアランスを調整します。

IN : 0.08 ± 0.03 (冷間時)

EX : 0.08 ± 0.03 (冷間時)



アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



シリンダーヘッドの取り付け要領を参照して作業を行ないます。

マークを合わせる時に、カムシャフトを時計方向に回さないで下さい。

デコンプカムが作動し、バルブクリアランスの調整が出来ません。

時計方向に回してしまった場合は、もう一度反時計方向に回し、マークを合わせてから調整して下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>



CYLINDER SET 取扱説明書

当社製 *R-Stage+D* 専用 (Hシリンダー)

商品番号 : 01-04-7188H (88cc)

シリンダーヘッド適車

モンキー・ゴリラ : Z50J-1000001 ~ 1510400

6Vダックス : ST50-1000001 ~ 6300021

- ・この度は、TAKEGAWA製品をお買い上げ頂き有り難うございます。
- ・この製品は、当社製 R Stage+D 専用のピストン、シリンダーのセットです。使用の際は、下記事項を遵守頂きます様、お願い申し上げます。
- ・M5 温度センサーの取り付けが可能です。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、一切保証の対象にはなりません。

この製品は、当社製 R Stage+D 専用です。

このキット単体では使用出来ません。専用のシリンダーヘッド及び推奨パーツをご購入下さい。

STD クランクケースに使用される場合、スリーブ挿入部の修正が必要になる場合があります。その場合は取り付け要領をよく読み、クランクケースの修正を行って下さい。

このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。



注意

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず原付2種の登録を行い、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(原付登録のまま公道を走行したり、道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)



警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識のない方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・ピストンピンサークリップ、ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。
(部品の摩耗や損傷で、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。(火災の原因になることがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・気化したガソリンの滞留は、危険性が有る為通気の良い場所で作業を行ってください。(爆発につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対しては、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。

指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	アルミシリンダー	1	0 1 0 1 0 2 4 1 H	1
2	ピストン	1	1 3 1 0 1 R S D T 1 0	1
3	ピストンリングセット (TOP,2ND,OIL)	1	0 1 1 5 0 1 4	1
4	ピストンピン	1	1 3 1 1 1 G E F T 0 0	1
5	ピストンピンサークリップ	2	0 0 0 0 2 1 2 0	6
6	シリンダーヘッドガスケット	1	1 2 2 5 1 G F L T 1 0	1
7	シリンダーガスケット	1	0 0 0 1 3 0 5 4	2
8	ラバーパッキン (ブラック)	1	0 0 0 1 3 0 4 8	2
9	ノックピン 8×12	2	0 0 0 0 3 1 2 3	2
10	ノックピン 8×14	2		2
	原付2種マークセット	1	—	—

番号	リペア品番	部 品 名
A	0 1 1 3 7 0 0 3 V	ガスケットキット、Bセット
B	0 1 0 2 0 1 3 4	ピストンキット

補修パーツ注文時はリペア品番にてご注文下さい。

又、単品出荷出来ない部品もございますので、その場合セット品にてご注文下さい。

ガスケットキットはシリンダーヘッドの種類やシリンダーの違いによって構成やガスケット自体の形状が異なりますので必ず専用品をご使用下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

～ 取 り 付 け 要 領 ～

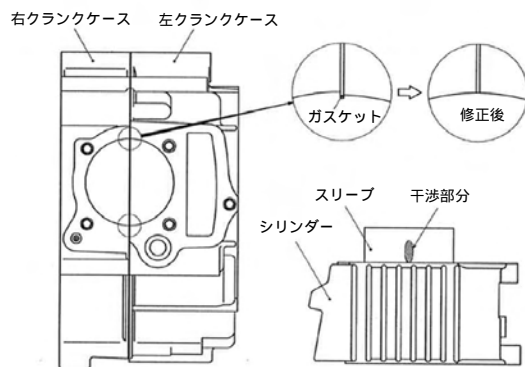
⚠ 注意：トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。

⚠ 警告：技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要となる商品があります。ホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行なって下さい。

サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。

クランクケースをボーリング加工する必要は無いですが、クランクケースの個体差でシリンダースリーブと干渉してしまう可能性があるので、クランクケースを修正します。

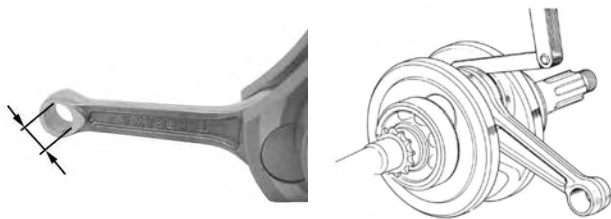


各部品の点検を行います。

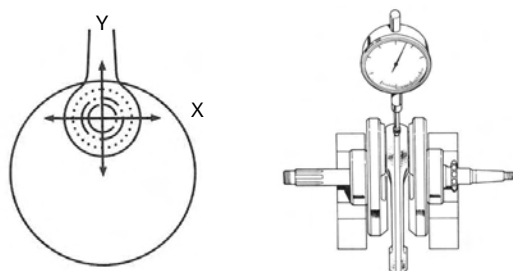
⚠ 注意：各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

点検項目

- ・コンロッド小端部の内径を測定する。
1 3 .0 3 mm以上交換
- ・コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。
0 .6 mm以上交換



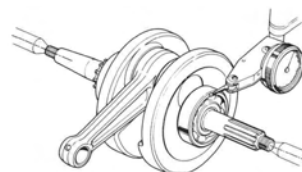
- ・コンロッド大端部軸直角 2 方向のガタを測定する。
0 .0 5 mm以上交換



- ・クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。

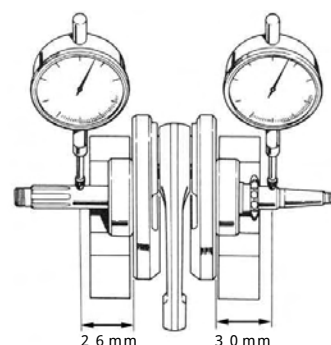
軸方向：0 .1 0 mm以上交換

軸受け方向：0 .0 5 mm以上交換



- ・クランクシャフトの振れを測定する。

0 .1 0 mm以上交換



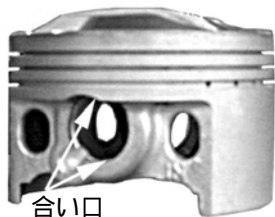
- サービスマニュアルに従いクランクケースを組み立てます。

～ シリンダー取り付け要領 ～

ピストンの片方にピストンピンサークリップを取り付けます。

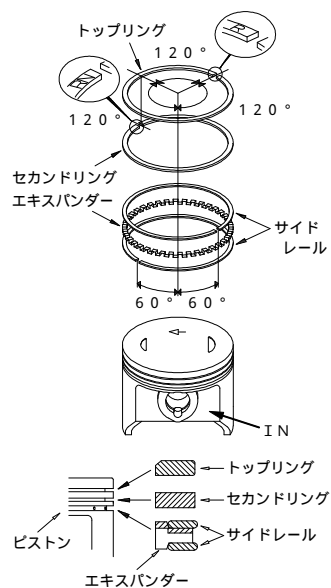


ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせます。

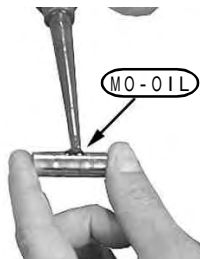


ピストンリング部及び、ピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認します。

ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



ピストンピン及び、コネクティングロッド小端部穴にモリブデン溶液を塗布します。



ピストンの をエキゾーストに向け、コネクティングロッドにピストンを取り付けます。



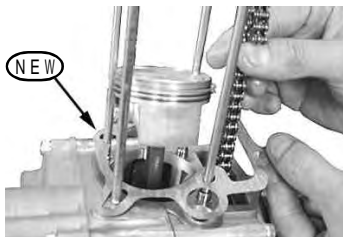
クランクケースのスリーブホール部、カムチェーンホール部にきれいなウエスを詰め込み、ピストンピンサークリップを取り付けます。



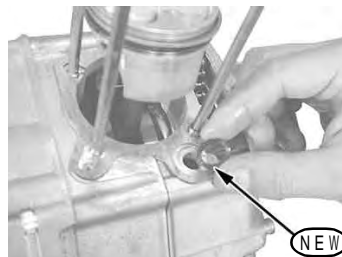
詰めていたウエスを取り外します。クランクケースのシリンダーベース面をきれいに脱脂し、ノックピン穴に、ノックピン 8 × 12 を取り付けます。



クランクケースのシリンダーベース面にキット内の部品のシリンダーガスケットを取り付けます。



クランクケースのシリンダーベース面のオイルリターン穴部にキット内の新品のラバーパッキングラックを取り付けます。



アルミシリンダーのボア内全周にオイルを塗布します。



アルミシリンダーをスタットボルトに差し込みます。



ピストンリングの合い口がずれない様、ピストンリングを圧縮しながらシリンダーを取り付けます。
△注意：ピストンリングを損傷しない様、注意する事。



カムチェーンガイドローラーをカムチェーンの間に入れます。



カムチェーンガイドローラーと、シリンダーサイドボルトを仮締めします。



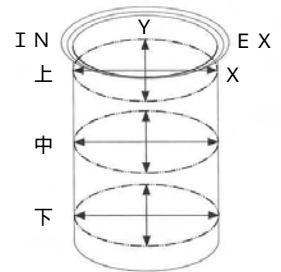
シリンダーサイド部のクランクケースと結合するオリジナルの六角ボルトを仮締めします。シリンダーヘッドを取扱説明書に従い取り付けます。

シリンダー、ピストン整備諸元表

項目			標準	使用限度	備考
シリンダー	歪み		—	0.05 mm	交換
	内径	52	52.015 ~ 52.050 mm	52.10 mm	交換
ピストン	外径（スカート下端より 6 mm）	52	51.980 ~ 52.000 mm	51.96 mm	交換
	ピン穴内径		13.002 ~ 13.008 mm	13.03 mm	交換
ピストンピン外径			12.994 ~ 13.000 mm	12.98 mm	交換
ピストンリング合口隙間		TOP	0.15 ~ 0.38 mm	0.50 mm	交換
		2ND	0.20 ~ 0.45 mm	0.50 mm	交換
		OIL	0.20 ~ 0.70 mm	0.90 mm	交換
シリンダーとピストンの隙間			—	0.12 mm	交換
ピストンとピンの隙間			0.002 ~ 0.014 mm	0.05 mm	交換

シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向 (X - Y 方向) に、上、中、下段の 6 ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。
最大測定値を内径値とする。
52 - 52.10 mm 以上交換
シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。



ピストンの点検

- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックスネゲージで測定する。
0.17 mm 以上交換
- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。
52 - 51.96 mm 以下交換
- ・ピストンピン穴の内径を測定する。
13.03 mm 以上交換
- ・ピストンとピストンピンの隙間を計算して求める。



ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシックスネゲージで測定する。
TOP、2ND - 0.5 mm 以上交換 OIL - 0.9 mm 以上交換

